



ハナサカ軍手プロジェクト

子どもたちにとって長野の通学の時間は寒くて大変です。そんな雪降る街を見て、信州大学繊維学部 of 学生達が立ち上がりました。プロジェクトの主演は軍手。名づけて「軍手ィ」。「寒い冬をあったかく、街を華やかに」という熱い想いがこめられています。「ハナサカ軍手ィプロジェクト」は、この軍手ィをひとりでも多くの方にお届けし、上田市から日本の冬を盛り上げよう！という志から始まったプロジェクトです。軍手ィを買々と子どもたちの笑顔の花が咲く！軍手ィの売り上げで、「ちび軍手ィ」を制作。AC長野パルセイロは2011年からこの活動を推進しており、試合会場でもオリジナル軍手ィを販売し、ちび軍手ィの普及活動に貢献しています。

活動場所 : ホームゲーム会場、裾花小学校（平成31年度）

取組テーマ : 地域のコミュニティ

協働者 : 企業／学校

協働者名 : 信州大学繊維学部 ハナサカ軍手ィプロジェクト

活動で工夫した点

パルセイロを通してのこの活動を知っていただく為に、選手にオリジナルデザインを作成してもらい、試合会場で販売しました。またAC長野パルセイロはスポンサーでもあるJAグリーン長野とタイアップして実施している「パルセイロ農園」にも絡めてオリジナル軍手ィの販売。事業マッチングによりスポンサーイメージも高めました。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

一対でもちび軍手ィを長野の子供たちに届ける為、毎年デザインを変えてパルセイロのファン・サポーターに購入していただいています。ただし、消耗品ではないため毎年安定した売上を確保できるよう選手デザインなど企画作り・プロモーションが大変です。また軍手ィ着用の時期が寒くなる冬になる為、秋ごろから販売してはいるが気候によっては試合会場での売上げが思わしくない時もあります。

クラブや地域の活動後の変化

2011年より継続して行われていることにより、このプロジェクトの認知度がファン・サポーターの中で高まっています。毎年購入者も増えており、県内一人でも多くの子供たちにちび軍手ィを贈呈できています。また年1回、対象小学校に伺ってちび軍手ィの贈呈式を行っており、多くの子供たちの笑顔が共有され、プロジェクトへのモチベーションにもなっています。



協働者の声

ファンやサポーターの方々が試合中に軍手ィをつけての応援を毎年楽しみにしているなどの声をいただき、軍手ィがより多くの人に知ってもらえているのと同時に、僅かながらチームの後押しもできていると感ずることができて大変うれしく思っています。また、普段の活動では体験できないスタジアムでの販売やパルセイロ様の番組やコーナーに出演させていただくなど貴重な体験もでき、楽しみながら活動しています。（ハナサカ軍手ィプロジェクトメンバー）

参加者の声

軍手ィは温かくて柄がかわいくてもらえてうれしい。また、みんなでサッカーをして楽しかったし、選手のシュートはすごかった。（ちび軍手ィ贈呈式参加の1年生）子供たちのための活動にサポーターとしてチームの応援をしながら関わることが嬉しい。（サポーター）

活動の「ここぞ！」というPRポイント

デザインの作成、印刷、販売などを自分たちで行い、より多くの長野県内の1年生にちび軍手ィを販売できるように頑張っています。カラフルな軍手ィで心も体も温かく！（ハナサカ軍手ィプロジェクトメンバー）

補足

長野の「子供たちの笑顔のために」と2011年から継続してハナサカ軍手ィプロジェクトとはタイアップして活動を行ってきました。昨年度は約9,400人（長野県内小学1年生の約50%）にちび軍手ィを贈呈させていただき多くの笑顔の花が咲きました。贈呈式というイベントも行っておりメンバーと小学校にお伺いし、軍手ィをつけて交流会も行っています。子供たちの元気な笑顔が活動の源となっています。